



国家財政と経済

令和6年1月25日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

アメリカの新しい現実とは技術革新と自由経済における、世界経済のヒエラルキーの頂点を有する。また先端工場の国内への建設は、高い生産性における新しい現実を有するのである。

国内においては国家財政の悪化とともに、判断を要求されるものである。財政の計画性とともにその健全化を行うことは、国内経済の新しい計画とともに、その問題の解決を要求されるものである。

これらは新たな段階への経済の転換が存在し、勝ち組と負け組が明確に存在するのである。

これらは、国内における明らかに国際基準から低い物価への考察を求められる。他方においては産業の先端性が存在するのである。

これらはグローバリゼーションという現実における国内経済への考察を求められるものである。

他方においては金融というライフラインは、その資本において世界経済の基盤を有するのである。

これらは先端産業の独占が世界経済において存在することを理解するべきである。これらはグローバル経済を牽引するものである。

これらは明らかに国内の経済政策への正しい理解基盤であり、それらは経済政策とともに、それら現実への正しい選択と対応を要求されるものである。

これらは国内経済の再編成と、国家財政の健全化という計画を求められるものである。

これらはさらなる未来における経済の進歩は自由経済システムとともに存在するのである。これらへの対策は唯一未来を実現するものなのである。そのため計画経済への転換は、国内産業の転換と再編成、税制システムの構築などにおける国家財政の健全化を提案するものである。